

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月9日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	藍住町教育研究会	代表者名	乾 幸信
担当者部署	藍住西小学校	連絡先電話番号	088-692-2436
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	771-1231 徳島県藍住町富吉字豊吉55-1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中川 斉史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなどころがよかったか等詳細に)	「町内の保育所・幼稚園・小学校・中学校に勤務する教職員で組織する教育研究会で、プログラミングの指導方法を中心に情報教育の指導について、教職員を対象に指導をしていただく。」というテーマに沿って、動画なども取り入れわかりやすくお話いただいた。特に、保育所から中学校と幅広い校種の教員すべてがプログラミング教育やプログラミング的思考など、はっきりと知りたいと思っている内容について、身近な例を挙げながら説明していただき、目の前の霧が晴れるように理解することができた。その結果、導入目前のプログラミング教育について、その指導の仕方、そのための条件整備など具体的に知ることができ、今後の道しるべができた。
アドバイザーへの要望事項	ご多用とは思いますが、プログラミング教育の導入と実践に向けて、今後も継続してご指導いただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月7日	14時10分	17時10分	10	170
3-2. 派遣場所	会場名	藍住町民シアター(藍住町役場4階)		最寄駅	JR勝瑞駅
	所在地	徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1			
	最寄駅からの交通手段	タクシー15分			

### 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 保育所保育士、幼稚園・小学校・中学校教員	人数 150人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) プログラミングについては、誰も詳しく研修を受けた者がほとんどいない状況があり、プログラミングやその指導方法について、基本的な技能や知識が不足している。そのような中では、教員が手探りをしながら学習指導を進める恐れがあり、子どもたちの興味関心を引き出し、魅力ある学習を展開できない可能性もある。また、各種情報機器の積極的な利用についても十分であるとはいえない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・プログラミング教育で、児童生徒に身につけさせたい力の明確化。・プログラミング教育の導入、指導の具体的な道筋。・プログラミング的思考など、様々な用語や概念の具体的理解。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・プログラミング教育では、まず体験を行い、その中で課題を解決するために試行錯誤をしたり、話し合ったり調べたりすることを行う。この体験活動により、児童生徒の興味関心を高め主体的で活発な学習が可能になる。その中で、プログラミング的思考の力を高め、教科学習にも活かしていくことができる。・先進校の実践を動画で見てどのようなものを使って実践しているか、また、年間計画の例の紹介。・プログラミング的思考とは何か、身近な例を使って説明	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・プログラミング教育の授業実施に対する不安の払拭。・プログラミング教育導入までの道筋への不安の払拭。・プログラミング教育で、児童生徒に身につけさせたい資質や能力の明確化。・プログラミング的思考という観点に立って、教科等の授業改善を進める意識づけができた。・プログラミングの体験を通じて、主体的に試行錯誤したり、協力したり話し合ったり調べたりして課題を解決しようとする学習スタイルを確立を他教科にも応用しようとする意識づけができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	・夏季休業中であり、すぐに授業実践をすることができないことや、児童生徒の変容はすぐには表れないため、現時点での成果の確認はできない。・プログラミング学習に必要な物品について、先進校で導入されている実物を紹介していただいたが、各学校や市町村レベルでの必要性の認識が異なっているため、それらの備品整備はすぐには解決できないかもしれない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講師にお願いした講演の内容が、プログラミング教育の導入に向けての教員の啓発であったこと、保育所・幼稚園・小学校・中学校教員と校種の幅が広くそれぞれにプログラミング教育への取り組み方が異なっている点から、講演内容に対するアンケートの必要性は高くないと判断した。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	小学校・中学校において、必要な物品がそろい、計画的に授業ができる体制づくりを行った上で、プログラミング教育がスムーズに導入でき、児童生徒が体験を通じて、自主的・共同的に活き活きと課題解決に取り組むなかで、プログラミング的思考力を高め学習に取り組む。	



6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

